

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		天文台活用事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	高木 敏明
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	福田 有里子
	基本事業	68	学習やスポーツへの参加機会の提供			所属班	図書館班	(内線)	2512
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果 8 コスト削減優先度評価結果 6
		1	10	5	8	10814			
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		7	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 図書館天文台を一般公開しての、毎週土曜の夜の星空観望会(定期)や、その他天文現象に合わせての特別観望会(不定期)を開催。その他、星空や天文に興味を持ってもらう市民参加型のイベント開催しており、これらの星空の解説や各種望遠鏡の操作といった天文台の運営はボランティアの天文台指導員が行っている。									
【業務の流れ】 年間計画の作成。定期・特別観望会、イベントの開催。天文台広報チラシ(毎月)の作成。団体からの依頼星空観望会への対応。 【主な予算費目】報償費(天文台指導員)、消耗品費(広報チラシの用紙)									

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 毎週土曜日の定期観望会のほか、特別観望会等を行った	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同様
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 開催日数 日 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 天体に興味がある市民及び周辺自治体住民	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 市民 人 イ 県民 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 多くの人に天文台を知ってもらい、利用してもらう	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 利用者数 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 学習やスポーツに参加する機会がある	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 学習に親しむ機会があると思う市民の割合 % イ スポーツに親しむ機会があると思う市民の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  目 標 合 計 値 画  22 年 度
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	396	369	505	509	524	1,007	
	(A) 事業費計	千円	396	369	505	509	524	1,007	795	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円		18						
	人件費									
正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2		
延べ業務時間	時間	192	192	192	192	192	192	192		
(B)人件費計	千円	762	764	764	764	764	764	764		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,158	1,133	1,269	1,273	1,288	1,771	1,559		
活動指標	ア 日 イ	28	42	30	33	35	35	35		
対象指標	ア 人 イ	52536 1827919	54047 1821024	54518 1820000	54561 1820959	55000 1820000	55000 1820000	55000 1820000		
成果指標	ア 人 イ	873	1219	1300	620	1350	1400	1400		
上位成果指標	ア % イ %	45.1 42.6	50.8 46.5	45.5 43.3	47.3 44.3	45.8 43.6	46 44			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
西合志図書館を開館するにあたり、なにか特徴ある図書館できないか、ということで天文台を設置した。その施設を活用し、住民に科学への関心を持ってもらい、生涯学習活動に生かしてもらう目的で、平成8年度から一般公開を開始した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
・合併後、旧合志町の住民の方に天文台の存在が広く広まった。  
・ボランティアの天文台指導員の登録者減少により、利用者が多数の時の天体解説等に対応できない時がある。そのため平成18年度より天文台指導員養成講座を開講し新たなボランティアの養成を行っている。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
利用者からは、合併後、議員からもっと市民にその存在や活動をアピールしてもらいたいとの意見が寄せられた。

事務事業名	天文台活用事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 市民の知的要求に応え、生涯学習を支える。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市の公共施設を使つての事業であるため。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 現在でも市内・市外に限らず、無料で一般公開しているため、対象を限定したりすることは単純に利用者をへらすだけに過ぎないため。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ もっと天文台の存在や活動をアピールし、市民をはじめ多くの方々に利用してもらう。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 熊本県内を見渡しても、合志市民が気軽に足を運ぶことができる同等規模の天体観測施設は無いため、市民が星空にふれる機会がなくなってしまう。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似の目的(意図・対象)をもつ事業が他にない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 活動の計画や準備、一般公開といった運営のほとんどをボランティアの天文台指導員に協力いただいているため。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 活動の計画や準備、一般公開といった運営のほとんどをボランティアの天文台指導員に協力いただいているため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 無料で公開しているため

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…もっと天文台の存在や活動をアピールし、市民をはじめ多くの方々に利用してもらう。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) これからも情報発信を行い、より多くの方に利用していただけるように体制を整備していく。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

解説や望遠鏡操作など天文台の業務のほとんどを天文台指導員に頼っているが、天文台指導員の数が減ってきており、利用者の数によっては対応できない場合がある。さまざまな天文台活動の実施は、新規天文台指導員の増員にかかっている。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	4	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )